



使用する前に

- [タスク フロー](#), 1 ページ
- [初期設定](#), 2 ページ
- [Firepower Chassis Manager のログイン/ログアウト](#), 4 ページ
- [FXOS CLI へのアクセス](#), 4 ページ

タスク フロー

次の手順では、Firepower アプライアンスの設定時に実行する必要がある基本的なタスクを示します。

手順

- ステップ 1 Firepower アプライアンス ハードウェアを設定します（『[Cisco Firepower 9300 Hardware Installation Guide](#)』を参照）。
 - ステップ 2 初期設定を完了します（[初期設定](#), (2 ページ) を参照）。
 - ステップ 3 Firepower Chassis Manager にログインします（[Firepower Chassis Manager のログイン/ログアウト](#), (4 ページ) を参照）。
 - ステップ 4 日付と時刻を設定します（[日時の設定](#)を参照）。
 - ステップ 5 DNS サーバを設定します（[DNS サーバの設定](#)を参照）。
 - ステップ 6 製品ライセンスを登録します（[ライセンス管理](#)を参照）。
 - ステップ 7 ユーザを設定します（[User Management](#)を参照）。
 - ステップ 8 必要に応じてソフトウェア アップデートを実行します（[Image Management](#)を参照）。
 - ステップ 9 追加のプラットフォーム設定を行います（[Platform Settings](#)を参照）。
 - ステップ 10 インターフェイスを設定します（[インターフェイス管理](#)を参照）。
 - ステップ 11 論理デバイスを作成します（[論理デバイス](#)を参照）。
-

初期設定

システムの設定と管理に Firepower Chassis Manager または FXOS CLI を使用するには、まず、コンソールポートを介してアクセスした FXOS CLI を使用して初期設定タスクを実行する必要があります。FXOS CLI を使用して Firepower アプライアンスに初めてアクセスすると、システムの設定に使用できるセットアップウィザードが表示されます。

システム設定を既存のバックアップファイルから復元するか、セットアップウィザードを実行してシステムを手動でセットアップするか、選択できます。システムを復元する場合は、バックアップファイルが、管理ネットワークから到達可能な場所に存在する必要があります。

Firepower アプライアンスの単一の管理ポートには、1つのみの IPv4 アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、または1つのみの IPv6 アドレス、ゲートウェイ、ネットワークプレフィックスを指定する必要があります。管理ポートの IP アドレスに対して IPv4 または IPv6 アドレスのいずれかを設定できます。

はじめる前に

1 Firepower アプライアンスの次の物理接続を確認します。

- コンソールポートがコンピュータ端末またはコンソールサーバに物理的に接続されている。
- 1Gbps イーサネット管理ポートが外部ハブ、スイッチ、またはルータに接続されている。

詳細については、『[Cisco Firepower 9300 Hardware Installation Guide](#)』を参照してください。

2 コンソールポートに接続しているコンピュータ端末（またはコンソールサーバ）でコンソールポートパラメータが次のとおりであることを確認します。

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- パリティなし
- 1 ストップ ビット

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続します。

ステップ 2 Firepower アプライアンスの電源を入れます。
Firepower アプライアンスが起動すると、電源投入時セルフテストメッセージが表示されます。

ステップ 3 未設定のシステムが起動すると、セットアップウィザードでシステム設定に必要な次の情報の入力を求められます。

- セットアップモード（フルシステムバックアップからの復元または初期セットアップ）

- 強力なパスワードの適用ポリシー（強力なパスワードのガイドラインについては、[User Accounts](#)を参照）
- admin パスワード
- システム名
- 管理ポートの IPv4 アドレスとサブネットマスク、または IPv6 アドレスとプレフィックス
- デフォルトのゲートウェイの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
- DNS サーバの IPv4 または IPv6 アドレス
- デフォルトのドメイン名

ステップ 4 設定の要約を確認し、設定を保存および適用する場合は **yes** を入力し、セットアップ ウィザードをやり直して設定を変更する場合は **no** を入力します。セットアップ ウィザードのやり直しを選択した場合は、以前に入力した値がカッコ内に表示されます。以前に入力した値をそのまま使用する場合は、**Enter** を押します。

次の例では、IPv4 管理アドレスを使用して設定します。

```
Enter the setup mode; setup newly or restore from backup. (setup/restore) ? setup
You have chosen to setup a new Fabric interconnect. Continue? (y/n): y
Enforce strong password? (y/n) [y]: n
Enter the password for "admin": adminpassword%958
Confirm the password for "admin": adminpassword%958
Enter the system name: foo
Physical Switch Mgmt0 IP address : 192.168.10.10
Physical Switch Mgmt0 IPv4 netmask: 255.255.255.0
IPv4 address of the default gateway: 192.168.10.1
Configure the DNS Server IP address? (yes/no) [n]: yes
  DNS IP address: 20.10.20.10
Configure the default domain name? (yes/no) [n]: yes
  Default domain name: domainname.com
Following configurations will be applied:
  Switch Fabric=A
  System Name=foo
  Enforce Strong Password=no
  Physical Switch Mgmt0 IP Address=192.168.10.10
  Physical Switch Mgmt0 IP Netmask=255.255.255.0
  Default Gateway=192.168.10.1
  IPv6 value=0
  DNS Server=20.10.20.10
  Domain Name=domainname.com
Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes
```

次の例では、IPv6 管理アドレスを使用して設定します。

```
Enter the setup mode; setup newly or restore from backup. (setup/restore) ? setup
You have chosen to setup a new Fabric interconnect. Continue? (y/n): y
Enforce strong password? (y/n) [y]: n
Enter the password for "admin": adminpassword%652
Confirm the password for "admin": adminpassword%652
Enter the system name: foo
Physical Switch Mgmt0 IP address : 2001::107
Physical Switch Mgmt0 IPv6 prefix: 64
IPv6 address of the default gateway: 2001::1
Configure the DNS Server IPv6 address? (yes/no) [n]: yes
  DNS IP address: 2001::101
Configure the default domain name? (yes/no) [n]: yes
  Default domain name: domainname.com
Following configurations will be applied:
```

```

Switch Fabric=A
System Name=foo
Enforced Strong Password=no
Physical Switch Mgmt0 IPv6 Address=2001::107
Physical Switch Mgmt0 IPv6 Prefix=64
Default Gateway=2001::1
Ipv6 value=1
DNS Server=2001::101
Domain Name=domainname.com
Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes

```

Firepower Chassis Manager のログイン/ログアウト

手順

-
- ステップ 1** Firepower Chassis Manager にログインするには、次の手順を実行します。
- サポートされているブラウザを使用して、アドレス バーに次の URL を入力します。
`https://<chassis_mgmt_ip_address>`
 <chassis_mgmt_ip_address> は、初期設定時に入力した Firepower アプライアンスの IP アドレスまたはホスト名です。
 - ユーザ名とパスワードを入力します。
 - [Login] をクリックします。
- ログインすると、Firepower Chassis Manager の [Overview] ページが表示されます。
- ステップ 2** Firepower Chassis Manager からログアウトするには、ナビゲーションバーのユーザ名にポインタを合わせて [Logout] を選択します。
 Firepower Chassis Manager からログアウトしてログイン画面に戻ります。
-

FXOS CLI へのアクセス

FXOS CLIには、コンソールポートに繋いだ端末を使って接続します。コンソールポートに接続しているコンピュータ端末（またはコンソールサーバ）でコンソールポートパラメータが次のとおりであることを確認します。

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- パリティなし
- 1 ストップ ビット

また、FXOS CLI への接続には SSH と Telnet を使用することもできます。Firepower eXtensible Operating System では、同時に最大 8 つの SSH 接続がサポートされます。SSH で接続するには、Firepower アプライアンスのホスト名または IP アドレスが必要になります。

次のいずれかの構文例を使用して SSH、Telnet または Putty でログインします。



(注) SSH ログインでは大文字と小文字が区別されます。

Linux 端末からは以下の SSH を使用します。

- `sshucs-auth-domain\username@{UCSM-ip-address|UCMS-ipv6-address}`
`ssh ucs-example\jsmith@192.0.20.11`
`ssh ucs-example\jsmith@2001::1`
- `ssh -lucs-auth-domain\username {UCSM-ip-address|UCSM-ipv6-address|UCSM-host-name}`
`ssh -l ucs-example\jsmith 192.0.20.11`
`ssh -l ucs-example\jsmith 2001::1`
- `ssh {UCSM-ip-address|UCSM-ipv6-address|UCSM-host-name} -lucs-auth-domain\username`
`ssh 192.0.20.11 -l ucs-example\jsmith`
`ssh 2001::1 -l ucs-example\jsmith`
- `sshucs-auth-domain\username@{UCSM-ip-address|UCSM-ipv6-address}`
`ssh ucs-ldap23\jsmith@192.0.20.11`
`ssh ucs-ldap23\jsmith@2001::1`

Linux 端末からは以下の Telnet を使用します。



(注) Telnet はデフォルトでディセーブルです。Telnet を有効化する手順については、[Telnet の設定](#)を参照してください。

- `telnetucs-UCSM-host-name ucs-auth-domain\username`
`telnet ucs-qa-10`
`login: ucs-ldap23\bldadmin`
- `telnetucs-{UCSM-ip-address|UCSM-ipv6-address}ucs-auth-domain\username`
`telnet 10.106.19.12 2052`
`ucs-qa-10-A login: ucs-ldap23\bldadmin`

Putty クライアントから :

- Login as: `ucs-auth-domain\username`
`Login as: ucs-example\jsmith`



(注) デフォルトの認証がローカルに設定され、コンソール認証が LDAP に設定されている場合は、`ucs-local\admin` (admin はローカルアカウント名) を使用して Putty クライアントからファブリック インターコネクタにログインできます。

